

ストレス因子	大変さの程度
21 近所の子供が大きなケガをする事故があった	3.67
22 下水道が詰まったり、あふれたりした	3.63
23 法律問題にまでなるような家庭争議があった	3.62
24 近所の騒音がひどくなった	3.60
24 家を新築、改築、増築した、又はその計画が持ち上がった	3.60
26 P T Aや学校の先生とのことで困ったことがあった	3.59
27 子供の遊び場や、いつも遊んでいた広場や場所がなくなった	3.58
27 近所に衛生に良くない虫や動物が急に増えた	3.58
27 ガス、水道の出が悪くなったり、断水、停電が多発した	3.58
30 住居を引越した、または引越の話が出た	3.57
30 家計費のどこかの部門（食費等）が急に増えた	3.57
32 台風や大雨によって、洪水、浸水、土砂崩れ、屋根がとんだり、ヘイが倒れたりすることがあった	3.55
33 近所に火事があった	3.54
33 親族どのつきあいで困ったり、辛い思いをしたことがあった	3.54
33 家族（自分を含む）が流産した、又はしそうになった	3.54
36 近所で人が死んだり、ケガをするような交通事故があった	3.53
37 近所づきあいで困ったり、とまどったり、辛い思いをした	3.51
38 いつも利用している病院がなくなったり、遠くなった	3.49
38 家屋を買った、又はその具体的な計画が持ち上がった	3.49
40 ゴミ回収、し尿処理などがひどく遅れたことがあった	3.47
40 献立など食生活の変化が起きた	3.47
40 家計の中心者が仕事をサボったり止めたりした	3.47
43 近所で泥棒や痴漢が出たりして、気味の悪い思いをした	3.45
44 財産相続などに絡む問題が起きた、又は起き出した	3.44
44 家族（自分を含む）が婚約した、又はその話が具体化した	3.44
44 家族（自分を含む）がノイローゼ気味になった	3.44
47 自分の土地を売買した、又はその計画が持ち上がった	3.43
47 税金のことで、税務署に呼ばれたり、苦勞することがあった	3.43
49 家族（自分を含む）が妊娠、又は出産した	3.42
50 子供の勉強が急に忙しくなった	3.40
51 家族（自分を含む）が交通事故を起こしたり、違反でひっかかった	3.37

ストレス因子	大変さの程度
52 近くでヤクザや暴力団、非行少年グループが事件を起こした	3.33
52 子供の友達のこと困ったことがあった	3.33
52 急に収入が減ったり、増えたりすることが起きた	3.33
55 部屋の配分や使い方について、問題になったり困ったりした	3.32
56 PTAのことで急に忙しくなった	3.31
57 台所の設備のことで不便になったり、困ったことがあった	3.30
58 近所に家が急にたて混んできた	3.29
58 高齢の親のことで扶養や世話をどうするかという問題で親族で話し合った	3.29
60 家の周りの緑や、小鳥、蝶々、トンボなどが急に減った	3.28
61 驚いて外に飛び出るほどの地震や振動があった	3.27
62 家族（自分を含む）が医師にかかるほどの火傷をした	3.26
63 家族（自分を含む）が急にお金をやたらに使い始めた	3.24
64 住んでいる地域が光化学スモッグの危険にさらされた	3.23
65 墓地を買ったり、お墓を作る計画が持ち上がった	3.22
65 家族（自分を含む）の寝る時間に大きな変化が起きた（夜勤、徹夜の勉強など）	3.22
67 子供が学校を転校した	3.20
68 洗面や洗濯、入浴のことで不便や、困ったことがあった	3.19
69 子供が受験浪人をするようになった	3.18
70 近所で鉄道、道路、ビル建設等の計画が持ち上がったり実際に工事が始まった	3.17
71 近くにモーテル、バー等あまり風紀の良くない施設ができた	3.15
71 子供が高等学校又は大学に入学した	3.15
71 自動車や家財道具等で大きな故障があり修理に出したりした	3.15
74 子供の成績が急に良くなった、又は悪くなった	3.11
75 共働きを始めた、又はやめた	3.09
76 夫婦のいさかいが多くなってきた	3.08
77 これまで同居していた家族、老親、親族などが別々に住むようになった	3.06
78 家族以外の人（知人、下宿人など）と一緒に住むようになった	3.04
79 家族（自分を含む）が（初めて）海外旅行（又は出張）をした	3.03
80 自治会、町内会、商店会などの役員に最近なった	3.01

ストレス因子	大変さの程度
81 別に住んでいた家族や老親が合流した	3.00
81 家族（自分を含む）が何かのことで裁判沙汰にまきこまれた	3.00
83 毎日お総菜や日用品を買うのに利用していた店がなくなった	2.95
84 一家そろって食事するようになった、又はできなくなった	2.92
85 家族（自分を含む）が趣味やスポーツにこりだした	2.90
86 子供に家庭教師をつけた、又は家庭教師を変えた	2.83
87 子供部屋、勉強部屋、老人の部屋を作った	2.82
88 親族の家のことで手伝ってあげたり相談にのったり世話をしたことがあった	2.80
88 子供が初めて級長や学級の委員になった	2.80
88 自動車を初めて買った、又は買いかえた	2.80
91 近所に不幸があつて、お悔やみや葬式に行った	2.79
91 親しかった友人が結婚した	2.79
91 子供が初めて外泊旅行をした	2.79
94 流感で学級閉鎖があった	2.78
95 これまで親しかった隣人が引越していった	2.75
96 子供を初めて塾や、ピアノ、絵等のレッスンにかよわせた	2.69
96 家で内職を始めた、又はやめた	2.69
98 電話を初めて取り付けた、又は今まであったのがなくなった	2.68
99 近所の家のことで相談相手になったり、何か手伝ったりしたことがあった	2.67
100 子供が幼稚園に入園した	2.66
101 子供が小学校又は中学校に入学した	2.65
102 犬、猫、小鳥等のペットを飼った、又はいなくなった	2.63
103 近所に赤痢、ショウコウネツ等の伝染病が発生した	2.58
103 冷暖房の装置を初めて入れた、又は冷暖房の仕方を変えた	2.58
105 おたふく風邪、水ぼうそう等、子供の流行性の病気があった	2.54
106 テレビ、冷蔵庫、洗濯機、クーラー、掃除機等を買った、又は買いかえた	2.51
107 学校で良くない遊び(シンナー、煙草、賭事、危険な遊び等)がはやりだした	2.50
108 親しくおつきあいする人が増えた	2.45
109 子供の学校や幼稚園（保育園）が移転した	2.43

ス ト レ ス 因 子	大変さの程度
109 風呂を初めてつけた	2.43
111 子供の学級のクラス替えがあったり、学級担任が変わったりした	2.26
112 向こう三軒両隣に新しい人が引越してきた	1.97

心理社会的ストレスの程度 (Williams 1982) ¹⁷⁾

コード	程 度	成 人 の 例
1	なし (None)	明らかな心理社会的ストレスなし
2	軽微 (Minimal)	些細な法律違反、少額の銀行ローン
3	軽度 (Mild)	隣人との口論、勤務時間の変更
4	中程度 (Moderate)	新しい職業、親友の死、妊娠
5	高度 (Severe)	自分自身あるいは家族の重病、配偶者と別居 大きな経済的損失、子供の出生
6	極度 (Extreme)	近親者の死、離婚
7	破局的 (Catastrophic)	強制収容所の体験 取り返しのつかない天災
0	特定不能 (Unspecified)	情報なし、または適応不能

職場におけるストレスリスク要因 (Cooper 1983) ¹⁰⁾

ストレッサー	リスク要因
労働条件	<ul style="list-style-type: none"> ・量的に過大な仕事負担 ・質的に過大な仕事負担 ・組立ラインでの過大な緊張 ・決定や裁量の程度 ・身体的危険 ・交替勤務
役割ストレス	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事でのあいまいな役割 ・偏った男女差と役割の固定化 ・セクシャルハラスメント
個人間の要因	<ul style="list-style-type: none"> ・不十分な労働条件と社会保障 ・政治的ライバル意識—ねたみと怒り ・労働者保護の管理機構の欠如
キャリア (昇進・昇格)	<ul style="list-style-type: none"> ・昇進の遅さ ・昇進のし過ぎ ・仕事の保証 ・欲求不満状態
組織機構	<ul style="list-style-type: none"> ・硬直で非人間的組織機構 ・政治的争い ・不適切な監視や訓練 ・方針決定への不参加
家庭と仕事の関係	<ul style="list-style-type: none"> ・収入と支出の不均衡 ・配偶者の協力の欠如 ・夫婦間の問題や結婚問題 ・二重のキャリアストレス

ストレスラー	リスク要因
<p>職場における要因</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 転勤 ・ 職場の配置転換 ・ 仕事上のミス ・ 多忙による心身の過労 ・ 交通事故 (業務中) ・ 労働災害 ・ 人間関係のもつれ ・ 親しい人の死 ・ 自分の昇格・昇進による責任感 ・ 同僚の昇格・昇進によるショック
<p>職場以外の要因</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭内での不和 ・ 家族親族の病気や死亡 ・ 結婚・離婚 ・ 子弟の入試・進学 ・ 友人や知人の死 ・ 失恋 ・ 引越し ・ 近隣との不和 ・ 人間関係のもつれ ・ 経済的な困難 ・ 交通事故 (業務外) ・ 天災などの事故



参考 4

自殺者に占める精神障害の比率及び自殺者の診断名分布の研究

自殺者に占める精神障害の比率の資料一覧

調査者・場所・性別	調査年	例数 (人)	精神病 (%)	精神障害 (%)	備考
de Boismont, B.	1865	4,595	14.2		
Wurttemberg	1900			52.3	酒精嗜癖 16.7
Wessinger, J. D.	1927			36.8	男33.4%, 女45.1%
	1928			67.6	男33.5%, 女47.3%
Gaupp, R.	1904~6	16	48	99	
Hubner, A. H.	1910	92		34.8	
Oppler, W.	1927	163	25.8	93.9	
		185	48.1	96.2	少なくとも23%は精神病ではない
Ollendorff, K.	1898~1902	33,848		28.45	
von Hermann, F. B. W.	1844~56	4,269	19.5		
Thomsen, J.	1891	127	23.6		
Dreikurs, R.	1930	353	6.7	100	
Weichbrodt, R.	1929		8.8		
Schneider, K.	1933		11		
Piker, P.	1927~36	1,817	6.7		既遂と未遂
Georg, S.		220	12.3		
Dahlgren, K. G.	1933~42	251		77	総合病院入院
Ettlinger, R. W.	1955	500	16.6	94.8	
James	1963	100	22	80	救急病棟入院
Schmidt	1952~53	109	15	100	一般病院入院
Kapamadzija	1952~66	180	7	100	精神病センター入院
Böcker, F.	1950~67	8,760	15.5	88.9	大学精神科, 未遂
Stengel, E	1958	627		100	
Engelhardt, H. T.	1959	134		94	
Sterns, A. W.	1921	167		50以上	
某生命保険会社		22,000		約20以上	
Ringel, E.		745	14.7		未遂
Kessel, N.	1962~63	165	36	74	服毒治療棟入院
		350	52	80	"
Krupinski, J.	1965	204	27.9	90.2	精神科
		154	20.2	75.4	"
Achte, H. S.	1966	100	14	97	毒物治療棟入院
Blanc, M.	1960~64	500	25	100	総合病院精神科入院
Prokupek	1963~66	15,641	14	91	
			12	86	精神科検診の未遂
加藤	1961	328	12.5		内科入院の未遂
大原	1956~57	62	37.1	93.5	救急病院入院の未遂

大熊輝雄(編): 躁うつ病の臨床と理論. p388, 医学書院(1990)

自殺者の診断名別分布

報告者	対象人数	分裂病	うつ病	メラニコリ	てんかん	精神病	神経症 心因反応	アル中 (嗜癖)	進行麻痺	ヒステリー	老人性精神病	嗜癖	その他	精神病質	正常
Siefert, H.	73	26.0		41.0				9.5	6.7				11.4	5.4	
Gaupp, R.	124				9.6	35.5		22.6		8.1			0.8	23.4	
Hübner, A. H.	92	10.9		20.7				3.3							
Trönner	88					25								59	16
Lowenberg, R. D.	90					51		8						41	
Oltman, J. E. ら	男 2,219 女 1,981	18.4 23.5	7.7 14.0				3.7 7.0	38.4 8.1			27.5 35.7		8.7 9.3	3.6 2.4	
Oppeer, W.	男 163 女 185	9.8 17.8	7.4 27.6		8.6 2.7		6.1 3.2	23.9 2.2					6.2 3.8	38.0 42.7	
Böcker, F.	876(未遂)	4.0	5.4			9.3	34.4	7.5				5.2	7.9	6.3	
Engelhardt, H. T. (1959)	134		45					23						32	
Stelzner, H. F.	201(妹)	20.9	32.8		5.5			3.0	3.0				3.5	15.9	15.4
Litman, R. E.		10	40				10						40		
Roisman, B.	46(男 30) (女 16)	3 6	52 69				7 25	28					10		
Pekorny, A. D.	615	11.9	44.9				11.3	2.6					16.6	12.7	
Ringel, E.	95	48.4	31.6		5.3				1.1		13.7				
Kessel, N.	男 615 女 350					63 25	5 12						27 20	32 16	
Jameison, G. R.	100	15	46	19	1		4						6	9	
Perr, I. N.	102	12	18				12	27					19	9	
石井	107	66.4	0.9		5.6			8.4	5.6		4.7		6.5	3.7	
稲地	46	65.2	19.6		4.3		2.2		4.3				4.4		
大原ら	117(未遂)	7.7					17.8						4.5		
山田	403		7.5				5.0				2.7	16.1	7.7		0.3
加藤	328	63.4	24.4		2.4				2.4			4.9	2.4		
高橋ら	28	42.8	10.7				17.9	3.6	10.7		14.3				
西川ら	30	23.3	43.3				33.3								
恒成ら	201(熊本県)	18.9	4.0				56.7	6.4					13.9		
楯取	548(警庁)	12.6	12.8		1.1		25.8	6.2			2.5	2.2	36.8		

大熊輝雄(編)：躁うつ病の臨床と理論. p390, 医学書院(1990)